

ツマベニチョウだより (第16号)

◎ 伊比井地区の方たちが駅のギョボク付近の草払いをして下さいました。

7月29日に集落の皆さんが伊比井駅の清掃を兼ねて、先に植えたギョボクの回りの荒草を刈り取って下さいました。その際、水元区長様の斡旋で伊比井神社の裏山にギョボク5本を植えさせて戴き、集落の方々にランタナ10本を差し上げました。また富士の谷川様(ボランティアグループの木の会会員)へランタナ10本をお届けしました。

◎ 伊比井地区と潮小学校にハイビスカス等をお届けしました。

8月23日伊比井地区にハイビスカス10本、ランタナ10本、ヒメノウゼンカズラ10本をお届けしました。また潮小学校にハイビスカス10本、ヒメノウゼンカズラ40本をお届けしました。

◎ 日南農林振興局の主任技師がギョボクの確認に来られました。

日南農林振興局主任技師の田口保様が、先に寄贈をお約束したギョボクの生育状況確認のため、9月14日に造園業者を伴って来訪されました。

◎ 南郷町の大島の対岸にギョボク30本を植えて下さいました。

上記のギョボクは9月27日に藤造園の方が3名見えて受け取って行かれました。そして翌日大島の対岸の、農業試験場亜熱帯植物支場に隣接して新設された、県の「有用植物園」に植えて下さいました。

◎ 潮小学校よりギョボク等を取りに来て下さいました。

9月28日に佐藤校長先生たちが私の家にお見えになりギョボク25本、ハイビスカス35本、ヒメノウゼンカズラ15本を持ち帰って下さいました。その日に私も同行して伊比井神社の境内にハイビスカス15本を植えました。その植樹を佐藤先生が加勢して下さいました。同じ日に伊比井地区にハイビスカス15本、ランタナ15本を寄贈したほか富士地区の「木の会」の谷川様にハイビスカス15本、ヒメノウゼンカズラ15本を届けました。また小目井地区へもギョボク10本、ハイビスカス10本を寄贈しました。

◎ 潮小学校で私がツマベニチョウの話をした後児童がギョボクの植樹をしてくれました。

担当の中西智子先生から予て要請のありました、私とツマベニチョウの出会い等について話をさせて戴いた後、20名の全校生徒が各自1本づつギョボクを植えてくれました。(その時宮崎日日新聞社の日南支社から取材に見えていて、当時の模様が10月17日の紙面に掲載されましたのでコピーを別紙添付いたします)。

◎ 潮小学校の児童がツマベニチョウを採集して学校に届けてくれました。

私がツマベニチョウの話をして僅か10日後の10月21日に、自宅のハイビスカスに吸蜜に訪れたツマベニチョウ1頭を6年生の日高優介君が捕まえて、23日に小学校に持参し、みんなで見た後メスだったのでギョボクを植えた辺りに放してやったそうです。伊比井川の近くで採集したツマベニチョウを殺さずに届けたことや、メスということで逃がしてくれたことが嬉しくてなりません。伊比井地区は鶴戸神宮から10キロも離れており、よくぞ此処までツマベニチョウが来てくれたとの思いと、すぐに現れた児童の反応に感謝している次第です。